

学校名 **港区立港南小学校** 校長名 古家 眞

所在地 〒108-0075 東京都港区港南4-3-28

TEL 03-3474-1501

FAX 03-3474-1500

E-mail konan-ea@mb.rosenet.ne.jp

URL <http://www2.rosenet.ne.jp>

1. 研究主題

「豊かな心と健やかな体を育む授業づくり」
～運動・体育的活動・健康安全・食育を通して～

2. 研究の期間

平成22年度～平成24年度 3年間

3. 研究の目的

本校の研究は、児童の豊かなかかわり合いを通して“豊かな心と健やかな体”を育む、学校としての体育・健康教育のモデルを示すべく取り組んできた研究である。

児童が学習の課題を追求する過程において、“他者とかかわり合うこと”や“自分を振り返ること”をくり返していくことを、本校では『共につくりあげていく学び』と捉え、この学びの実現には、豊かなかかわり合いが必要であると、研究を進めてきた。

また、本校で実施した児童への意識調査から「外遊びをする児童が少ないこと」や「食習慣、生活習慣の乱れ」が課題として把握できた。これらの課題の解決とともに、新しい施設環境を得たこともあわせ、運動習慣や健康的な生活習慣、望ましい食習慣を身に付けることを重視し、活力あふれる、健やかな体をもつ児童を育成していくこともねらい、学校教育における体育・健康教育全般について総括的に研究を進めてきた。

4. 研究の方法・実践内容

本校では平成22年度にボール運動系を中心に、かかわり合いを重視した授業研究に取り組み、平成23年度以降、研究を発展させ、運動部会、体育的活動部会、健康安全部会、食育部会と4つの部会を組織し研究を進めてきた。

また、全教職員が主題の実現に向けて「一人一実践の取り組み」を行った。

(1) 研究経過

① 1年目

【研究内容】

- ・「豊かな心を育む体育学習」についての基礎研究
- ・体育学習におけるゲーム領域・ボール運動領域を中心とした調査研究
- ・低学年・中学年・高学年・特別支援学級の四分

科会による授業研究

② 2年目

【研究内容】

- ・「豊かな心と健やかな体」についての基礎研究
- ・体育・運動についての意識に関する調査研究
- ・運動部会、体育的活動部会、健康安全部会、食育部会による授業研究

【各部の取り組み】

運動部会

主題「運動の楽しさを味わい、自他のよさを認め合うことができる体育学習

◎運動の楽しさについての検討

体育的活動部会

主題「運動の楽しさを味わい、友達とかかわり合って日常的に運動に親しむ体育的活動」

◎体育的活動の内容及び活動方法の検討（12月より実施）

健康安全部会

主題「毎日の生活を生き生きと健康に過ごすことができる健康安全学習」

◎保健学習・保健指導・安全指導の3つの柱についての検討

食育部会

主題「食に感謝の気持ちを持ち、自らの食を大切にする食育」

◎食に関する実態把握及び給食指導等における具体的取り組み

③ 3年目

【研究内容】

- ・「港南の児童の学び」についての基礎研究
- ・体育・運動についての意識に関する調査研究
- ・研究仮説の検証
- ・運動部会、体育的活動部会、健康安全部会、食育部会による授業研究

【各部の取り組み】

運動部会

◎学習活動に即した評価規準の検討&学習モデル作成

体育的活動部会

◎体育的活動「げんきアップタイム」の運動遊びの内容の検討

健康安全部会

◎セーフティタイムの検討及び実施&港南健康安全プランの作成

食育部会

◎食育プランの作成及び実施&給食スタンダードの設定

(2) 各部会の研究について

①運動部会

運動部会では、主に小学校体育科の運動領域の授業研究に取り組んだ。特に平成24年度は、ボール運動系を中心に運動の楽しさとは何かを考えたうえで、運動の楽しさを味わわせるための手立てを考えてきた。また、学習活動に即した評価規準を検討することにより、児童の具体的な姿をイメージした評価についての研究を進め指導と評価が一体化した授業づくりを進めてきた。

□具体的な取り組み□

- ・運動の楽しさを味わわせる学習過程の構築
- ・1単位時間の学習の流れの工夫
- ・学習形態、学習資料の工夫
- ・体育科学習モデルプランの作成

②体育的活動部会

体育的活動部会では、業前や業間等の時間を活用して、運動の日常化を目指した研究に取り組んできた。平成23年12月からは業間の時間を活用して運動遊びに取り組む時間「げんきアップタイム」を設け、運動に親しむことへの意識を高めてきた。

□具体的な取り組み□

- ・げんきアップタイムの導入
- ・体育朝会の充実

③健康安全部会

健康安全部会では、小学校体育科の保健領域、特別活動としての保健指導、各教科等を通して行う安全教育の研究に取り組んだ。保健領域・保健指導では、児童が健康に生き生きと生活することを目指した授業づくりを行った。

□具体的な取り組み□

- ・生活リズムチェックの定期的な実施
- ・「セーフティタイム」の充実
- ・手あらい歌の導入 等
- ・港南 健康安全プランの作成

④食育部会

食育部会では、日常の給食指導だけでなく、各教科・特別活動を通して取り組みを行ってきた。日常の給食指導では、バランスよく給食を食べることの大切さを学んだ。また特別活動を中心とした授業では、発達段階に応じた指導内容を検討し「港南食育プラン」を作成してきた。

□具体的な取り組み□

- ・自然の恵みに感謝する体験の充実
- ・給食指導の充実（食育キャラクターの設定等）
- ・食育だよりによる保護者の啓発

5. 研究の成果

研究前後の調査研究等に基づき、仮説の検証を行った結果以下のような成果が得られた。

(1) 港南の児童の変容

- ・友達のよさを認めながら学習を進めることの大切さを知り、互いに声をかけ合ったり協力し合ったりしながら学習を進めることができるようになってきた児童が増加した。
- ・運動の楽しさを明確にして授業づくりを行ってきたことで体育学習への意欲が向上してきた。
- ・げんきアップタイムで、意図的に運動遊びに取り組ませるようにしてきたことで、日常的に運動に親しむ姿が見られるようになった。
- ・「手あらい歌」や毎月のセーフティタイム（安全指導）を導入したことで、健康や安全への児童の意識を高めることができた。
- ・給食指導を教職員で共通理解して進めたことや食育キャラクターを設定するなどの取り組みにより、児童の食に対する意識が高まり、給食を残さずに食べる児童が増えた。

(2) 教師の授業力向上

- ・一人一実践の取り組みにより、全教職員が本研究の実践に取り組んだことで、体育科教育や健康教育を中心とした授業力の向上につながった。
- ・学習モデルプランを作成したことにより、系統性を明確にした授業づくりを行えるようになった。また、学習活動に即した評価規準を児童の具体的な姿でモデルプランに示したことで、児童のよい姿をイメージして授業に取り組むことができた。

(3) 保護者の意識の向上

- ・食育だよりや保健だよりなどの保護者の意識を啓発する文書などにより、児童だけでなく児童の生活をささえる家庭の食生活や健康な生活への意識を高めることができた。

6. 研究の意義、発展性

本研究は、学校における体育・健康教育全般について総括的に研究を進めてきた。本研究の成果は平成24年度の東京都小学校体育研究会区部発表会において研究発表する素地ともなった。

今後は、指導内容の体系化を目指して取り組んできた体育科や健康教育に関する全単元のモデルプランをもとにした実践を積み重ねるようになっていくことで、さらに児童の変容が表れると考えている。

また、体育的活動の“げんきアップタイム”や“セーフティタイム”等、日常的な取り組みを継続していくことにより、より本研究を深化・発展させていくことができると考えている。